

科目的ねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考			
今なお続くコロナ禍による、ニュー・ノーマル時代への変革、デジタルシフトに対応した都市デザインの見直しなど、昨今、とめどなく多くの議論がなされている。本科目では、変革真っただ中である、まちづくりの「今」を調べるとともに、実在するまちづくりのプレイヤーをクライアントとした仮のプロジェクトを立ち上げ、ニュー・ノーマルなモノ、コトを提案、社会に対して発信を行う。現実に即した提案を行うことで、デザインのもつ意義、職能を学ぶ	プリント配布、一部資料はGoogleドライブ内に格納	《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。空間デザインは物理的な箱の他、多くの条件を読み解き、ハード、ソフト両面から提案していくものである。今回、【名古屋学院大学・マイルポストクラブ様】にご協力いただき、実際に存在するフィールド、クライアントを意識した空間の設計及び提案を行う。前半はクライアントのまちづくり活動を資料から読み解き、議論等で理解を深める。中間は提案の骨子となるコンセプトを導き出し、後半5週で具体的な空間を【ハードとソフト】の両面から設計及び提案を行う。最終的に学外参加者による評価も行い、実社会における空間デザインの意義、職能を学ぶ。	【専門知識スキル】:1. 【材料】の持つ魅力や特性、社会における問題点を掘り起こすことができるようになる。2. 実社会に対して提案を行うことで、ハード・ソフト両面から広義としての空間デザイン力を習得する。3. 専門家でない一般の方に対して提案を伝える力を習得する。【社会人基礎力】:1. 考え抜く力(課題発見力、計画力、創造力) 2. 前に踏み出す力(主体性、働きかけ力、実行力) 3. チームで働く力(発信力、傾聴力、柔軟性、情報把握力、規律性、ストレスコントロール力)。実在するフィールド、クライアントを意識することで主体的に行動し、発信しながら、テーマの課題について考察し、自分なりの回答、提案を見出しうる力を身につける。	【受講ルール等】:資料プリントを配布する。前半課題は調査レポートと企画書を作成、後半課題は図面、プレゼンボードを作成し、最終、A2版ハリパネ(各チーム4枚まで)を提出とし、公開プレゼンにて展示できるようにする。【評価の観点】:創作した作品(表現、独創性、スケール感、発想力、明快なコンセプト等) 1. 提案までのプロセス 考え方の明快さ。 2. プrezentation(説明のわかりやすさ、工夫、積極性) 【その他】:学外特別講師による講義も適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】:平常点(授業受講姿勢など)/課題評価/出席率但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない。			
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	《4/11田淵01》講義計画書の説明、グループワークについて		授業の目的を理解し、事前準備を行う事で計画力を身に付ける。	1. 考え抜く力(課題発見力、計画力、創造力) 2. 前に踏み出す力(主体性、実行力) 3. チームで働く力(傾聴力、柔軟性、ストレスコントロール力)	【授業運営方法】アクティブラーニング【持参物】筆記用具、ノートパソコン、スケッチブック		
2	《4/14岩崎01》講義計画書の説明、課題の下準備、グループ内の担当決め	本課題の製作に向けた、調査の方法や、資料の収集方法、作図方法、プレゼン資料の構成について説明を行い、その方法に当りをつける。	〃	〃	【授業運営方法】アクティブラーニング【持参物】筆記用具、コンペックス、ノートパソコン、スケッチブック		
3	《4/18田淵02》課題①の下準備	次回提出予定のレポートの準備	〃	〃	〃		
4	《4/21岩崎02》まちづくり活動資料を基に議論、調査、研究	《チームワーク》基本となる知識を身に付ける。自ら調べること、それぞれが調べた情報を共有することで、より深い知見を獲得する。	授業の目的を理解し、事前調査・研究を行う事で計画力を身に付ける。	1. 考え抜く力(課題発見力、計画力、創造力) 2. 前に踏み出す力(主体性、働きかけ力、実行力) 3. チームで働く力(発信力、傾聴力、柔軟性、情報把握力、規律性、ストレス	【授業運営方法】アクティブラーニング【持参物】筆記用具、コンペックス、作成資料、ノートパソコン、スケッチブック		
5	《4/28岩崎03》まちづくり活動資料を基に議論、調査、研究	〃	〃	〃	〃		
6	《5/02田淵03》課題①:レポートの下準備	〃	〃	〃	〃		

7	《5/09田淵04》課題①:レポートの下準備、講師チェック	//	//	//	//		
8	《5/12岩崎04》まちづくり活動拠点となる店舗設計の企画書立案、ラフ資料作成	《チームワーク》知り得た(インプットした)情報を、自分のフィルターを通して現実の形としてアウトプットする。	現実に存在するプレイヤーの活動に触れることで、リアルな状況に即した課題の発見力、提案力を身に付ける。	//	//	課題①:レポート	
9	《5/16田淵05》課題②:企画書の下準備	//	//	//	//		
10	《5/19岩崎05》まちづくり活動拠点となる店舗設計の企画書立案、ラフ資料作成	//	調査・研究を元にプログラムを立案。チームでディスカッション、協力しながら、提案を強化できる力を身に付ける。	//	//		
11	《5/23田淵06》課題②:企画書の下準備、講師チェック	//	//	//	//		
12	《5/26岩崎06》まちづくり活動拠点となる店舗設計の企画書作成、ラフデザインの作成	《チームワーク》インプットからアウトプットまでのプロセスをまとめ、企画書としてまとめる。提案を人に伝える力を身に付ける。	//	//	//	課題②:企画書	
13	《5/30田淵07》ラフ案(企画設計)の講師チェック	//	//	//	//		
14	《6/02岩崎07》プランニング、3Dモデリング、サインデザイン、他付帯デザイン	《チームワーク》プランニング、ハード・ソフトの両面から空間を設計する力を身に付ける。	エスキスを通してまとめる力、プログラムを具現化する力を身に付ける。ハード・ソフトの両面から設計し、提案力を強化する。	//	//		
15	《6/06田淵08》ラフ案(企画設計)の講師チェック	討論会のアドバイスを受け、プランニングを進める	//	//	//		
16	《6/09岩崎07》プランニング、3Dモデリング、サインデザイン、他付帯デザイン	《チームワーク》プランニング、ハード・ソフトの両面から空間を設計する力を身に付ける。	//	//	//		

17	《6/13田淵09》ラフ案(企画設計)の講師チェック	//	//	//	//		
18	《6/16岩崎09》プランニング、3Dモデリング、サインデザイン、他付帯デザインのブラッシュアップ、資料のアウトプット	《チームワーク》設計したものを高い精度で図面化、三次元化し、スケール感や機能性、デザイン性をブラッシュアップする。	//	//	//		
19	《6/20田淵10》デザインワーク内容の講師チェック	//	//	//	//		
20	《6/27田淵11》デザインワーク内容の講師チェック	//	//	//	//		
21	《6/30岩崎10》プランニング、3Dモデリング、サインデザイン、他付帯デザインのブラッシュアップ、資料のアウトプット	//	//	//	//		
22	《7/07岩崎11》プランニング、3Dモデリング、サインデザイン、他付帯デザインのブラッシュアップ、各種資料のアウトプット、プレゼンボード作成	《チームワーク》設計したものをパネル等の枠に落とし込み、分かりやすい提案書を作成する。プレゼンに向けたブラッシュアップを行う。	プレゼンテーションに向けた資料をまとめ、対象に説明する力を身に付ける。	//	//		
23	《7/11田淵12》課題③:プレゼン資料作成の準備	//	//	//	//		
24	《7/14岩崎12》各種資料のアウトプット、プレゼンボード作成	//	//	//	//		
25	《7/18田淵13》プレゼンボードの作成、チェック	//	//	//	//		
26	《7/21岩崎13》各種資料のアウトプット、プレゼンボード作成	//	//	//	//	課題③:プレゼン資料(案)	

27	《7/25田淵14》プレゼンボードの作成、チェック	//	//	//	//		
28	《7/28岩崎14》校内プレゼン、資料ブラッシュアップ	//	//	//	//	プレゼン資料(改訂版)提出、発表、ブラッシュアップ	
29	《8/01田淵15》出力締切⇒ハレパネ 作業は8/03	校内プレゼン後、プレゼンボードをブラッシュアップし、出力する	//	//	//		
30	《8/04岩崎15》公開プレゼン	《チームワーク》クライアントに参加いただき、公開プレゼンテーションを行う。意見交換を行い、様々な視点からまちづくりを考える。	専門家でない一般の方々に向け、イメージした空間、コンセプトをレイアウトし、まとめ、伝えることが出来る。	//	//	プレゼン資料(最終版)提出、発表	

23年度_前期_TSD_インテリアデザイン_3年_ショップデザイン_塩澤ちひろ.xlsx

科目的ねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考			
建築・設計を学ぶ者としての応用編。 1.公園管理の新たな事業スキーム Park-PFI手法に着目。社会動向に目を向ける。2.公共性、デザイン性、魅力的なショップ選定、空間づくりが求められる「公園施設」を題材に収益施設およびあそび場について、計画・設計・プレゼンテーション力を習得する。3.課題・テーマの社会的背景、計画地の歴史、事例、現状の問題などについて調査・分析を行い、空間・デザインの観点から考えた解決策を提案する力を養う。思考的プロセスの実践。4.提案内容は比較的自由度の高いものとし、感性を養う。	なし。	《建築・インテリア業界による実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。「ダイバーシティ」をテーマに都市公園内にカフェ・レストラン・インクルーシブなこどものあそび場・園路を計画する。地域の顔となる交流と賑わいの拠点を目指し、文化的価値のある公園全体のデザイン・景観との調和・親和性を考える。 1.計画地は再整備され今春オープンする鶴舞公園正面エリア。2.テーマの社会的背景を理解し、計画地の机上・現地調査・分析を行い、現状の問題を見出し、コンセプトメイキングする。3.エスキース、図面、3DCG、模型などを用い空間・デザインを検討する。4.魅せ方・伝え方を意識した制作およびプレゼンテーションを行う。	【専門知識スキル】1.リサーチ、問題発見、解決策の検討、提案までの一連の流れを学び、まとめる力を習得する。2.配置計画・動線計画・空間構成・インテリアにおける総合的なデザイン力の向上。3.図面・ベース・模型による空間表現の向上。【社会人基礎力】1.論理的思考力を磨く。2.自発性。3.表現方法(文章化・図式化・レイアウト)の向上。4.プレゼンテーション能力の向上。	【受講ルール等】必要な資料はGoogleドライブ内に格納、プリント配布【評価の観点】1.作品(テーマの理解度、表現、独創性、スケール感、発想力、明快なコンセプト)2.提案までのプロセス(自発性、トイ&エラー)3.プレゼンテーション(説明力、工夫、熱量)【評価項目(評価の方法)】平常点(授業受講姿勢など)、課題評価(コンセプト・完成度・表現力など)、出席率(但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない。)			
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	「ダイバーシティ(多様性×共存)パーク」課題の説明。科目的ねらいなど説明。机上調査。	課題内容、設計条件、用語(Park-PFI、ダイバーシティ)、社会的背景、計画地の歴史、Park-PFI事例についてリサーチ。	授業の目的を理解する。	主体性、実行力	【授業運営方法】課題内容の説明。全体スケジュールの把握。【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
2	現地調査(鶴舞公園)事例調査(RAYARD Hisaya-odori Park)	計画地である鶴舞公園を調査。公園全体を把握し、机上調査結果を照合・確認する。近場のPark-PFI最新事例を調査。問題発見。	実際に目にした現状や周辺環境、机上調査で入手した情報、最新事例などから問題発見する。	主体性、実行力、課題発見力	【授業運営方法】現地調査および事例調査、【持参物】筆記用具、カメラ、メジャー、机上調査メモ、交通費	鶴舞公園、RAYARD Hisaya-odori Park	
3	レポート発表(テーマの理解、鶴舞公園の歴史、事例紹介、現状の問題について)とコンセプトチェック	グループに分かれてプレゼン形式で発表を行う。一人5分程度。グループディスカッションを行い、より説得力のあるコンセプトに修正。コンセプトチェック。	プレゼンテーション力とコミュニケーション力の向上。計画性を持ってリサーチし、アウトプットする。ディスカッションにより客観的に課題を整理し、コンセプトメイキングする。	主体性、実行力、課題発見力、発信力	【授業運営方法】プレゼンテーション、グループディスカッション【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC、発表用資料	レポート	
4	正面エリア敷地模型製作	机上・現地調査を基に敷地模型を分担して製作する。	既存の建物や歩道、樹木、計画地の高低差など、エスキースに必要な情報を実体化する。縮尺の考え方を習得する。	主体性、実行力、発信力、傾聴力、状況把握力	【授業運営方法】実習【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC、模型製作道具		
5	エスキース	配置計画・動線計画・平面計画・断面計画と造形を検討する。	条件に沿う、整合性の取れたプランニング力を習得。	主体性、実行力、課題発見力、計画力、創造力、発信力	【授業運営方法】実習【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
6	"	"	"	"	"		

23年度_前期_TSD_インテリアデザイン_3年_ショップデザイン_塩澤ちひろ.xlsx

7	#	#	#	#	#		
8	中間発表	プレゼン形式で発表。発表後はグループディスカッションを行う。	プレゼンテーション力とコミュニケーション力の向上。意見交換で気付きを得る。自己分析を行う。	主体性、実行力、計画力、発信力、傾聴力	【授業運営方法】プレゼンテーション、グループディスカッション【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC、発表用資料		
9	デザインチェック(図面化、バース作成)	中間発表のフィードバック作業。図面化、3Dモデリングに着手する。	配置計画・動線計画・空間構成・インテリアにおける総合的なデザイン力の向上。	主体性、実行力、課題発見力、計画力、創造力、発信力	【授業運営方法】実習【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
10	#	図面化、3Dモデリングを行う。	#	#	#		
11	デザインチェック(個別プレゼンテーション)	図面、バースの最終チェックを行う。(平面図、立面図、断面図の確認。3Dモデリング、レンダリングの確認。)個別プレゼンを行う。	#	#	【授業運営方法】実習、プレゼンテーション【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
12	プレゼンテーション資料作成(レイアウト、文章作り)	魅せ方・伝え方を意識したレイアウト構成を行い、プレゼンに必要な要素を確認する。論理的文章を作成する。プレゼン用に図面をブラッシュアップする。	プレゼンテーション力の向上。言語的表現の習得。計画性を持って作業を進め、課題達成を目指す。	#	【授業運営方法】実習【持参物】筆記用具、スケッチブック、PC		
13	#	#	#	#	#		
14	#	最終レイアウトの調整。発表の練習。	#	#	#		
15	最終プレゼンテーションと講評、総評	発表と提出。	プレゼンテーション力の向上。作品の講評を受け、自己分析を行う。他の者の発表から異なる観点を知り、理解する。	主体性、実行力、計画力、発信力、傾聴力	【授業運営方法】プレゼンテーション【持参物】プレゼン資料		

23年度_前期_TSD_インテリアデザイン_3年_デジタルプレゼンテーションⅢ_田淵智子.xlsx

科目的ねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
建築・インテリア設計の基礎となる平面図、断面図、立面図、配置図などの描き方を理解する。就職に有効なポートフォリオの見せ方・表現方法を習得する。Illustrator、Photoshopでの画像編集作業について学習する。、	適宜プリント配布	《建築・インテリア業界による実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。基礎的なデジタル技術をしっかりと身につける必要があります。また、ポートフォリオの添削や2年次課題のブラッシュアップを行う。	【専門知識スキル】1. Illustrator、Photoshop編集の応用力を習得する。2. レイアウト表現の応用力を習得する。【社会人基礎力】1. 考え抜く力(想像力)2. よりよい作品にするための課題を明らかにする力(課題発見力)3. 新しい表現・作品を生み出す力(創造力)	【受講ルール等】どれほど秀作であれ期日に間に合わなければ評価しない。【評価の観点】創作した作品(表現、独創性、スケール感、明快さ等) 1 提案までのプロセス 考え方の明快さ。 2 プレゼンテーション(説明のわかりやすさ、工夫、積極性)【評価項目(評価の方法)】平常点(授業受講姿勢など)/課題評価/出席率但し、必要出席率が80%を満たさない場合及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード'(任意)
1	1. 科目のねらい、到達レベル、講義計画等の説明2. 2年次課題のレイアウトパネル講評、分析3. 先輩のポートフォリオ分析4. 図面の返却	授業内容の説明。各自の2年次課題について改善点・修正点をレクチャーし、先輩のポートフォリオ事例の解説	授業の内容と目的を理解する。よりよい表現方法を身に付ける。	1. 考え抜く力(想像力)2. よりよい作品にするための課題を明らかにする力(課題発見力)3. 新しい表現・作品を生み出す力(創造力)	【授業運営方法】作品データをレクチャーしながら改善点を導く【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳	なし
2	Illustratorにて平面図の着彩、住宅課題の図面回収	平面図の色塗りを復習、ポートフォリオ作品の選定	デジタルの表現方法学び、よりよい表現方法を身に付ける	/	【授業運営方法】過去作成した平面図の着彩(デジタル)の復習【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳	色塗り後の平面図、住宅課題の図面一式
3	Illustratorにて立面図・断面図の着彩、Photoshopにてバース等の編集	立面図・断面図の色塗りを復習、レンダリング後のバースのゆがみや色調補正等の編集方法を身に付ける	/	/	【授業運営方法】過去作成した立面図・断面図の着彩(デジタル)の復習【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳	色塗り後の立面図・断面図
4	図面のチェックバック1	2年次課題の図面一式の返却及び添削	/	/	【授業運営方法】ポートフォリオ制作を進める【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳	表紙、プロフィールページ
5	図面のチェックバック2	/	/	/		目次ページ
6	ポートフォリオ添削1	出力する前の作品の添削。図面のスケール確認、図面の表現方法正誤確認、文章等のチェック	/	/	【授業運営方法】各自ブラッシュアップした作品の添削を講師が添削【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳	
7	ポートフォリオ添削2	/	/	/		
8	ポートフォリオ添削3	/	/	/		
9	ポートフォリオ添削4	/	/	/		
10	ポートフォリオ添削最終確認	/	/	/		

23年度_前期_TSD_インテリアデザイン_3年_デジタルプレゼンテーションⅢ_田淵智子.xlsx

11	ポートフォリオ発表	修正したポートフォリオの発表	制作した作品集を人前で発表し、就職活動に活かす	//	【授業運営方法】各自ブラッシュアップしたポートフォリオをプロジェクター投影して発表【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳	ポートフォリオのデータ	
12	フォローアップ1	他科目の課題の表現技法の魅力をアップするためのフォロー	よりよい表現方法を身に付ける	//	【授業運営方法】他科目の課題の表現方法を講師がサポート【持参物】筆記用具、ノートパソコン、メモ帳		
13	フォローアップ2	//	//	//	//		
14	フォローアップ3	//	//	//	//		
15	フォローアップ4	//	//	//	//	未提出課題一式	

23年度_前期_TSD_インテリアデザイン_3年_住環境デザイン_鳥居信貴.xlsx

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考			
本授業はすべて手書きで行う。①実際にある敷地の場所性を読み取り、ラフ図を用いて設計する能力を習得する。②構造、構法についても理解を深める。③建築の基本とされる住居についてスケール感を持った計画を行うことでその後の設計に対する発展を目指す。④今興味のあること、深く知りたいことに対して探求心を持って研究し、それをデザインに昇華させる訓練を行う。	特にない。	《建築・インテリア業界による実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。戸建て住宅を設計する。写真やその他敷地情報から近隣、地域分析を行いアリティの高い計画を行い、手書きの図面の作図能力の向上を狙う。また自ら相手に伝えるための要素を考え製作し、最終日に発表を行い講評を受ける。	【専門知識スキル】:課題を読み解き、想像する空間をラフ図という方法でアウトプットを行うことができ、相手に伝えるために必要な要素を主体的に考える力を身につける。【社会人基礎力】:主体性、課題発見力、想像力、柔軟性。	【受講ルール等】指定日時に指定場所へ指定された方法で提出する。【評価の観点】1.授業への取り組む姿勢2.課題作品の完成度3.プレゼンテーション能力【評価項目(評価の方法)】1.平常点(受講姿勢など)2.課題評価(コンセプト・提案力・表現力)3.出席率(但し必要出席率80%を満たない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位不認定とする。)			
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	【授業の説明・課題発表】	本授業の狙い、スケジュール、成績のつけ方、研究する内容についての説明。	自ら設定した研究内容に対して、それを実現するための検討方法の理解を深める。	傾聴力、主体性	【持参物】筆記用具・ノート・PC(研究用)	スマホ・PC・建築見学などで研究・事例収集	
2	【各自研究】	各自研究を行い、一人ずつ進捗状況を確認する。	研究方法を自ら学び、コンセプトからデザインへ発展させるための引出を増やす。	課題発見力、想像力	【持参物】筆記用具・ノート・PC(研究用)	"	
3	【中間発表】	研究内容、現段階での研究から導いたコンセプト、選択した敷地の発表と説明。	他生徒の研究からコンセプトの流れを早い段階で聞くことで、自らのデザインに取り込めるように柔軟に考える。	課題発見力、柔軟性	【持参物】筆記用具・ノート・PC・プレゼン資料	中間発表用資料(クラウドUP)	
4	【継続研究・エスキス】	中間発表で見えた課題などを含めて、継続的に研究を行いながら、エスキスを進めていく。	手書きでスケッチを描きながら各種寸法を検討していく、エスキスでそれを説明する。	主体性、想像力、計画力	【持参物】筆記用具・ノート(エスキス用の紙)・PC(研究用)、コンベックス	スマホ・PC・建築見学などで研究・事例収集・案検討	
5	"	継続的に研究を行いながら、エスキスを進めていく。	"	"	"	"	
6	"	"	"	"	"	"	
7	"	"	"	"	"	"	
8	"	"	"	"	"	"	
9	"	"	"	"	"	"	

23年度_前期_TSD_インテリアデザイン_3年_住環境デザイン_鳥居信貴.xlsx

10	【継続研究・エスキス・作図】	継続的に研究を行いながら、エスキスを進めていく。手書き作図を行う。	相手に伝えることができるような作図を行うことができる。伝えるや伝わるより伝えたい気持ちを考えることができる。	主体性、想像力、計画力	【持参物】筆記用具・ノート(エスキス用の紙)・PC(研究用)・本番用紙・作図に必要と各々が判断したもの	エスキス案提出(クラウドUP)	
11	【作図】	手書き作図を行う。	"	"	"		
12	"	"	"	"	"		
13	"	"	"	"	"		
14	"	"	"	"	"		
15	【プレゼン・講評】	各自作品発表を行い、講師及び生徒同士での講評を行う。	他生徒の作品を講評を行うことで、自らの作品を再評価し見直す。	状況把握力・発信力・傾聴力	【持参物】筆記用具	手書き図面提出(コピー提出、クラウドUP)	

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
「環境工学」気象等の建築やインテリアを取り巻く外的条件と空間との相互作用の学習する。「建築計画」各種建築物の計画、都市計画、建築物に用いる設備、建築の移り変わりを学ぶ。	教科書、プリント配布	人や建築・都市を取り囲む環境は、熱、空気、光、音環境と多岐にわたり、これらの理解が空間を作り立たせるのには大変重要でそれらの基礎知識を習得する。	【専門知識スキル】【社会人基礎力】1. 考え抜く力(創造力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【受講ルール等】テーマごとに必要な資料プリントを配布する。【評価の観点】テストによる。【その他】3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】平常点(授業受講姿勢など)/課題評価		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	科目的狙い、到達レベル、講義計画等の説明◆温熱4要素 絶対温度、相対温度	1. 科目の狙い、2. 到達レベル、3. 講義計画等の説明、温度と熱移動	授業の目的、内容を十分理解する	1. 考え抜く力(創造力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】教科書を利用する他、動画教材やテストを適宜行う<持参物>教科書、筆記用具、ノート	
2	序章建築計画の概要・第1章計画原論(その1)	屋外環境を理解。代表的な環境問題を学び、空気・日射についての影響を理解する。	〃	〃	〃	
3	第2章計画原論(その2)	温熱環境、伝熱、結露、音響、色彩について理解する	〃	〃	〃	
4	第3章計画各論(その1)	住宅、店舗、事務所、学校、幼稚園、保育所、図書館、医療施設について理解する	〃	〃	〃	
5	第4章計画各論(その2)	さまざまな建築物の面接や細部の寸法などの計画一般と地域計画を理解する	〃	〃	〃	
6	第5章建築設備(その1)	換気設備、冷暖房設備、空気調和設備、給水設備、排水・衛生設備を理解する	〃	〃	〃	
7	第6章建築設備(その2)	電気設備、照明設備、消化・防災設備を理解する	〃	〃	〃	
8	統括総まとめ	確認テスト	〃	〃	〃	
9	第1章施工準備及び軸体工事前の工事にはどのようなものがあるか	施工計画・施工管理・地盤調査・仮説工事・土工事・山留め工事・基礎・地業工事	工事全体のはどのように進むのかを、専門用語の含め理解する	〃	〃	
10	第2章軸体工事にはどのようなものがあるか(その1)	鉄筋工事・型枠工事	鉄筋工事・型枠工事について、画像をしながら理解する。	〃	〃	
11	第3章軸体工事にはどのようなものがあるか(その2)	コンクリート工事・補強コンクリートブロック工事	鉄筋コンクリート工事のコンクリート工事と補強コンクリートブロック工事について、画像を見ながら理解する	〃	〃	

23年度_前期_TSD_インテリアデザイン_3年_環境工学・計画_長谷川憲章.xlsx

12	第4章躯体工事にはどのようなものがあるか(その3)	鉄骨工事・木工事	鉄骨工事と木工事について、画像を見ながら理解する	//	//		
13	第5章仕上工事にはどのようなものがあるか(その1)	防水工事・左官工事・塗装工事	防水工事・左官工事・塗装工事について、画像を見ながら理解する	//	//		
14	第6章仕上工事にはどのようなものがあるか(その2)	タイル工事・建具・ガラス工事・内装工事・断熱工事	タイル工事、建具・ガラス工事、内装・断熱工事について、画像を見ながら理解する	//	//		
15	第1章～6章総括	第1章～6章の総括	第1章～6章の総括を聞きき、画像を見ながら理解する	//	//		

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考			
「建築構造」建築物の構成について知り、建築計画の参考とする。「材料」建築物の仕組みや材料についてを知り、建築計画における参考とする。	BASICテキスト、よくわかる力学演習テキスト	建築構造:建築物とはどのようなものなのだろうか。どのように構成され、各部がどのような働きをもつのかを理解する。 材料:建築物はどのような材料をどのように組み合わせ、どのような方法でつくられていくのかを知る。	【専門知識スキル】【社会人基礎力】1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【受講ルール等】テーマごとに必要な資料プリントを配布する。【評価の観点】【その他】:3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】・平常点(授業受講姿勢など)//出席率但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない			
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	序章建築構造物の概要、第1章力とは	安全である建築物を学ぶために力(合成・分析・モーメント)・力のつり合いで荷重の状態	構造の安全性の重要性について理解する力に関しての+D4:D18+D4:D1+D4:D18	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書		
2	第2章反力とは	構造物(支店・節点)・反力の求め方・単純梁の反力・片持ち梁の反力・制定ラーメンの反力	反力の求め方について理解する	//	//		
3	第3章応力とは	応力の種類・単純梁の応力	応力とは何か、単純梁、片持ち梁、静定ラーメンにおける応力の求め方について理解する	//	//		
4	第3章応力とは	片持ち梁の応力・静定ラーメンラーメンの応力	応力とは何か、単純梁、片持ち梁、静定ラーメンにおける応力の求め方について理解する	//	//		
5	第4章応力とは	静定トラスの応力	静定トラスの応力について理解する	//	//		
6	第4章応力とは	静定トラスの応力	静定トラスの応力について理解する	//	【授業運営方法】<学生持参物>B3スケルトンボード2枚、30度のカッターの刃、カッター、カッターマット、スチール定規、スチノリ、製図道具一式		
7	第5章部材の設計とは	断面の性質・応力度と許容応力度	太さをもつ部材としての断面をどのようにしたら安全かについて理解する	//	【授業運営方法】<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書		
8	第5章部材の設計とは	座屈	太さをもつ部材としての断面をどのようにしたら安全かについて理解する	//	//		
9	第6章構造物の設計とは、第7章木質構造	構造計画・構造計算、木質構造一般・各部構造・接合法	構造物の設計について理解する。木質構造についての概要、各部の構造及び接合法について理解する	//	//		
10	第8章鉄筋コンクリート構造、第9章鉄骨構造	鉄筋コンクリート構造一般・各部構造、鉄鋼構造一般・各部構造・接合法	鉄筋コンクリート構造についての概要及び梁と柱の構造について理解する。鉄骨構造についての概要、各部の構造及び接合法について理解する	//	//		

23年度_前期_TSD_インテリアデザイン_3年_建築構造・材料_平野芳彦.xlsx

11	序章力学を学ぶ上での基本事項	力学を学ぶにあたって・力とは・力のモーメント・力の合成と分解	構造力学の基礎を理解する、力・モーメントの意味を理解する、力の合成。合力を理解する	//	//		
12	序章力学を学ぶ上での基本事項	力のつり合い・構造物の骨組の種類と表示・荷重と反力・骨組の安定と不安定、静定と不静定	力のつり合い条件を理解する。構造物の重心・構造物に作用する外力を理解する。安定と不安定・静定と不静定を理解	//	//		
13	第1章静定構造物の反力	静定構造物の反力・片持ち梁の反力・単純梁の反力	建築物に働く外力(荷重と反力)がつり合い構造物が成り立つ事の理解。片持ち梁について理解する	//	//		
14	第1章静定構造物の反力	静定ラーメンの反力	一端ピン、他端ピンローラーの単純梁を理解する。単純梁系ラーメン(一端ピン他端がピンローラー)を理解する	//	//		
15	第2章静定構造物の反力	応力とは・集中荷重が作用する静定梁の応力	部材内に生じる力(応力)を理解する。集中荷重が作用する片持ち梁の応力の求め方を理解する	//	//		

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
「構造力学基礎」将来建築の仕事に携わる上で最小限必要な構造の要素を身に付けることを目標にする。	2級建築士必修項目取得講座テキスト 2級建築士構造テキスト	《建築・インテリア業界による実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。授業ではテキストに添って進める。それによって建物のどういった部分に大きな力が働くかを理解できるようにする。	【専門知識スキル】【社会人基礎力】1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	【受講ルール等】テーマごとに必要な資料プリントを配布する。【評価の観点】【その他】3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】平常点(授業受講姿勢など)/必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	(1)科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明(30分) ◆構造の数学	①科目の狙い ②到達レベル ③講義計画等の説明(30分) ◇小テスト	授業の目的を理解する	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書、マーカーペン、A4ファイル	
2	◆構造の数学	(3)方程式 (4)比例・反比例 (5) 比 ◇小テスト	数学の基礎を理解するようにする	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書、マーカーペン、A4ファイル	
3	◆力	(1)力 (2)モーメント ◇小テスト	力のモーメントを理解できるようにする	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書、マーカーペン、A4ファイル	
4	◆力の合成と分解	(1)1点に集まる力の合成と分解 (2)平行な線からの合成と分解 ◇小テスト	合力を理解できるようにする	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書、マーカーペン、A4ファイル	
5	◆力のつりあい	(1)力がつりあうとは (2)1点に集まる力のつり合い (3)1点に集まらない力のつり合い ◇小テスト	力のつりあいとは 回転をともなう力のつりあいを理解できる様にする	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書、マーカーペン、A4ファイル	
6	◆荷重	(1)荷重の種類 (2)荷重のモデル化 ◇小テスト	分布加重を理解できるようにする	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書、マーカーペン	
7	◆反力	(1)構造物のモデル化 (2)支点と反力 (3)構造物の種類 ◇小テスト	構造物の力学モデルを理解できるようする	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書、マーカーペン、A4ファイル	
8	◆反力	(1)反力の求め方 ◇小テスト	力のつり合い条件式を用いた、反力から応力までの一連の解法手順にしたがい、反力を正しく求めらるようにする	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書、マーカーペン、A4ファイル	
9	◆応力	(1)応力の種類 (2)応力を求める手順 ◇小テスト	構造物の力学モデルについて理解できるようにする	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書、マーカーペン、A4ファイル	
10	◆応力	(3)応力図 ◇小テスト	構造物の力学モデルについて理解できるようにする	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書、マーカーペン、A4ファイル	

22年度_後期_TSD_インテリアデザイン_3年_構造力学基礎.xlsx

11	◆トラス	(1)トラスの性質 ◇小テスト	構造物の力学モデルについて理解できるようにする	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書、マーカーペン、A4ファイル		
12	◆トラス	(2)トラス部材の軸方向力を求める手順 ◇小テスト	切断法の手順(平行弦トラス、縦型トラスの解法)が理解できるようにする。	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書、マーカーペン、A4ファイル		
13	◆トラス	(2)トラス部材の軸方向力を求める手順 ◇小テスト	構造物の力学モデルについて理解できるようにする	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書、マーカーペン、A4ファイル		
14	◆断面の性質	(1)断面一次モーメント(S) (2)断面二次モーメント(I) ◇小テスト	部材の断面に関する性質を数値化する方法を理解できるようにする。	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書、マーカーペン、A4ファイル		
15	◆断面の性質	(3)断面係数(Z) (4)断面二次半径(i) (5)剛度(K)と剛比(k) ◇小テスト	単位を理解する。	1. 考え抜く力(想像力)2. 前に踏み出す力(主体性)3. チームで働く力(傾聴力)	<学生持参物>ノート、シャープペン、教科書、マーカーペン、A4ファイル		

22年度_後期_TSD_インテリアデザイン_3年_建築法規生産_長谷川_平野.xlsx

科目的ねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考			
「建築法規」建築基準法をはじめとする建築関連法規の学習をする。「生産」建築物の生産プロセスを学び建築施工における順序や意味を学ぶ。	教科書、プリント配布	《建築・インテリア業界による実務経験のある教員による授業科目》「建築物には、法律によって様々なな制約が定められている。実際の建築物のデザインを行うにあたって必要となる建築関連法規に関する基礎知識を習得する。実際の生産にあたって企画・設計・施工を理解した上でマネジメントすることが重要であり、その基礎知識を習得する。」	【専門知識スキル】建築基準法の意義、基礎的な法文、法律用語の意味や意義などを理解できるようになること。【社会人基礎力】1. 考え抜く力 2. 前に踏み出す力(主体性) 3. チームで働く力(傾聴力)	【受講ルール等】テーマごとに必要な資料プリントを配布する。【評価の観点】内容理解について【その他】:3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施。【評価項目(評価の方法)】平常点(授業受講姿勢など)/課題評価)/出席率但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない			
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	【建築法規】科目の狙い、到達レベル、講義計画等の説明。建築デザインと建築法規について。建築基準法の基本定義	1. 科目の狙い、2. 到達レベル、3. 講義計画等の説明	授業の目的、内容を十分理解する	1. 考え抜く力(想像力) 2. 前に踏み出す力(主体性) 3. チームで働く力(傾聴力)	【授業運営方法】教科書を利用する他、動画教材やテストを適宜行う<持参物>教科書、筆記用具、ノート		
2	【建築法規】建築基準法のしくみ・用語の定義	法令の種類や形式、用語を理解する 令2条、法別表第Ⅰ、令1条、令107条～109条の3、令115条の3	〃	〃	〃		
3	【建築法規】面積・高さ等の算定方法確認申請・手続等、一般構造規定	法令の種類や形式、用語を理解する 令2条、法6条～18条、法85条、87条、88条、令137条の18、138条、146条、法19条、法28条～33条、令19条～35条、令129条の2の5	〃	〃	〃		
4	【建築法規】構造強度、大規模建築物、法22条区域内、特殊建築物、防火地域、準防火地域	法令の種類や形式、用語を理解する 法20条、法21条、令36条～99条、法22条～法27条、法61条～66条、法別表第1、令115条の3	〃	〃	〃		
5	【建築法規】防火区画、内装制限、避難施設等	法令の種類や形式、用語を理解する 法35条の3、令111条～114条、法35条の2、例128条の3の2～128条の5、法35条、令116条の2～128条の2、令128条の6～129条の2	〃	〃	〃		
6	【建築法規】道路・壁面、用途地域、容積率	法令の種類や形式、用語を理解する 法41条の2～47条、法68条の9、令144条の4、法48条～51条、法別表第2、令130条の3～130条の9の8、法52条、令135条の18、令135条の19	〃	〃	〃		

7	【建築法規】建ぺい率、高さ制限	法令の種類や形式、用語を理解する 法53条、令135条の20、21、法55条～56条2、法別表第3・同4、令130条の11～135条の13	/	/	/		
8	【建築法規】統括総まとめ	確認テスト	/	/	/		
9	【生産】第1章 施工準備及び躯体工事前の工事にはどのようなものがあるか	工事全体のはどのように進むのかを、専門用語の含め理解する	/	/	/		
10	【生産】第2章 躯体工事にはどのようなものがあるか(その1)	鉄筋工事・型枠工事について、画像を見ながら理解する。	/	/	/		
11	【生産】第3章 躯体工事にはどのようなものがあるか(その2)	鉄筋コンクリート工事のコンクリート工事と補強コンクリートブロック工事について、画像を見ながら理解する	/	/	/		
12	【生産】第4章 躯体工事にはどのようなものがあるか(その3)	鉄骨工事と木工事について、画像を見ながら理解する	/	/	/		
13	【生産】第5章 仕上工事にはどのようなものがあるか(その1)	防水工事・左官工事・塗装工事について、画像を見ながら理解する	/	/	/		
14	【生産】第6章 仕上工事にはどのようなものがあるか(その2)	タイル工事、建具・ガラス工事、内装・断熱工事について、画像を見ながら理解する	/	/	/		
15	【生産】第1章～6章総括	第1章～6章の総括を画像を見ながら理解する	/	/	/		

22年度_後期_TSD_総合デザイン_3年_プロジェクト型_富田、田淵、石澤.xlsx

科目のねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
総合デザイン学科で身につけた幅広い視点を生かし各コースが協力して産学協同にて課題に取り組む。実社会に出る前にビジネスとマナーを実践し地域創成と新しい上表発信基地としてのキャンプ場を企画立案する。	各講師、及びPDFやドライブ内で共有	《建築・インテリア業界による実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。キャンピングスティ岡崎(仮称)の各事業に対して、デザインアイディア提案を行う。3..コースが協力して企画及び成果物を制作する。	【専門知識スキル】:スケジュール管理能力。/質の高い作品、完成度の高い作品を判別する眼。/チームによる連携を生かす能力 【社会人基礎力】:・計画力・主体性・実行力・傾聴力・柔軟性・状況判断力・規律性・ストレスコントロール力	【受講ルール等】:専門分野(ビジュアル、CG、インテリア)講師が学生からのリクエストに対し専門性の高いアドバイスを実施。/講師間の申し送り事項は、常時行い、各授業で把握されている情報を共有。講師個別で判断しにくい状況が生じた場合は石澤が判断を下す。【採点基準】:・出席率・グループ内での貢献度・〆切が厳守された課題の提出		
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	09/26 zoomにてクライアントレクチャー。グループ毎に企画立案スタート。	【グループ毎に課題に取り組む】グループでの役割分担やスケジュールなどを組み簡易企画書の制作(A4一枚程度)	グループの力を生かしたテーマを作成できる。他業種で構成されたプロジェクトの運営・管理・情報伝達の理解。	・計画力・主体性・実行力・傾聴力・状況判断力	【授業運営方法】:導入レクチャーの後、各自制作予定の内容をA4一枚程度にまとめる【持参物】:メモ帳、PC	原田様zoomにて
2	9月30日	簡易企画書の提出(コンセプトをはじめ作るものなど最終形態を見据える) (制作報告書記入日)←基本毎週金曜日、指定されたパソコンから順番に記入。	"	"	"	簡易企画書
3	10/03 決定した企画に基づいての制作開始	提案の対象を定め、どのような魅力を付加するかを考察し新しキャンプ場の企画を提案するべく取り組む。(現地を生かした)	"	"		
4	10月7日	現地での情報を元にプランニングを修正する・スケジュール制作・役割分担表制作 (制作報告書記入日)	企画書の再構築	"	"	
5	10月14日	〈制作報告書記入日〉	"	"	"	
6	10/17 【第1回】グループリーダー会議	自分たちの企画発案がどこまで進んでいるのかを報告。	各グループの情報共有と進捗状況の把握。	・計画力・主体性・実行力・傾聴力・状況判断力	【授業運営方法】:定期的にグループリーダー会議において情報共有を行うと共に、各コース毎の授業において密度を上げる。【持参物】:メモ帳、PC	
7	10月21日	〈制作報告書記入日〉	"	"	"	
8	10/24 第1回 中間発表に向けての準備	スムーズに発表が出来るように準備する。1グループ5分以内。データ準備。企画書3部用意。	決められた時間内に自分たちの意図するところを伝える練習。	・計画力・主体性・実行力・傾聴力・状況判断力	【授業運営方法】:定期的にグループリーダー会議において情報共有を行うと共に、各コース毎の授業において密度を上げる。【持参物】:メモ帳、PC	
9	10/28 "	〈制作報告書記入日〉	"	"		
10	10/31 「第1回 中間発表」意見交換会(クラスアント来校予定)	プランニング内容を発表し、作品の内容についてお互いに意見交換を行う	聞き手の立場に立った最適なプレゼンテーションが構成でき、他人からのアドバイスをプランに繁榮させ修正できる。	・主体性・発信力・傾聴力・状況判断力	【授業運営方法】:アクティブラーニング	発表データと企画書

22年度_後期_TSD_総合デザイン_3年_プロジェクト型_富田、田淵、石澤.xlsx

11		11月4日	〈制作報告書記入日〉			〃		
12	11/07 【第2回】グループリーダー会議	自分たちの企画発案がどこまで進んでいるのかを報告。	各グループの情報共有と進捗状況の把握。	・計画力・主体性・実行力・傾聴力・状況判断力	【授業運営方法】:定期的にグループリーダー会議において情報共有を行うと共に、各コース毎の授業において密度を上げる。【持参物】:メモ帳、PC	〃		
13		11月11日	制作の継続 〈制作報告書記入日〉			〃		
14		11月14日	〃	〃	〃	〃		
15		11月21日	〈制作報告書記入日〉	〃	〃	〃		
16		11月28日		〃	〃+D16	〃		
17	12/2 【第3回】グループリーダー会議	自分たちの企画発案がどこまで進んでいるのかを報告。 〈制作報告書記入日〉	各グループの情報共有と進捗状況の把握。	・計画力・主体性・実行力・傾聴力・状況判断力	【授業運営方法】:定期的にグループリーダー会議において情報共有を行うと共に、各コース毎の授業において密度を上げる。【持参物】:メモ帳、PC	〃		
18		12月5日		〃	〃	〃		
19		12月9日	〈制作報告書記入日〉	〃	〃	〃		
20	12/12 「第2回 中間発表」意見交換会 各グループ毎に田淵、富田、石澤へ発表。	各グループ毎に全員集まってのチェック	〃	〃	〃			
21		12月16日	〈制作報告書記入日〉	〃	〃	〃		
22		12月19日		〃	〃	〃		
23	12/23 年内最終授業 【第4回】グループリーダー会議	自分たちの企画発案がどこまで進んでいるのかを報告。冬休み中にしておくべきことを把握し、グループメンバーへ指示。 〈制作報告書記入日〉	各グループの情報共有と進捗状況の把握。	・計画力・主体性・実行力・傾聴力・状況判断力				
24		1月6日	〈制作報告書記入日〉	〃	〃	〃		

22年度_後期_TSD_総合デザイン_3年_プロジェクト型_富田、田淵、石澤.xlsx

25	1/13 プチ・プレゼン準備 【第5回】グループリーダー会議	冬休み中の成果及び問題点の把握 プレゼンテーションに必要な資料制作	各グループの情報共有と進捗状況の把握。	・計画力・主体性・実行力・傾聴力・状況判断力	【授業運営方法】:定期的にグループリーダー会議において情報共有を行うと共に、各コース毎の授業において密度を上げる。【持参物】:メモ帳、PC		
26	1/16 プチプレ準備	データの動作確認など	//	//	//		
27	1/20 プチプレゼン	企画書、模型など制作物の完成を提出。プレゼンに向け、ストップウォッチなどで囲いながらハーサルする。(1グループ8分以内)その後、問題点の洗い出し。 (制作報告書記入日)	企画書(3部)、プレゼン用データ(プロジェクト)、制作物(現物)	//	//	企画書その他	
28	1/23 修正	プチプレを振り返っての見直し。	完璧なプレゼンテーションをする為のノウハウを得る。	//	//		
29	1/27 【第6回】グループリーダー会議	最終プレゼンに向けての最終確認など制作物最終チェック。この時点では完成していかなければプレゼン不可。 (制作報告書記入日)					
30	1/30 【最終プレゼン】	13グループ毎にプレゼンを行い総合力としてアピールする。	聞き手の立場に立った最適なプレゼンテーションができる。プレゼン内容を構成しクライアントに魅力を伝える。	・主体性・発信力・傾聴力・状況判断力	【持参物】:メモ帳、PC、プレゼンツール	原田様来校	

科目的ねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考			
地域の歴史や文化、地場産業など幅広くリサーチし、それを踏まえた上でのインテリアの空間(住空間・商空間)を提案し、図面、パース、模型、パネルに仕上げていく力を習得する。卒業制作のテーマに沿って、それぞれの学生が自分が制作した作品を社会へ提案をする力を身につける。	特になし	《実務経験のある教員による授業科目》建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。各自設定したテーマに対してどのような空間・建物を想定するか、具体的な事例リサーチおよび研究・敷地の設定および情報収集・配置計画・プラン計画など計画に基づいたプランニング・空間の独自性、魅力を具体的な設計にどのようにもりこんでいくか、製図、模型制作、CGパースなど具体的な表現、プレゼンテーション作業	・社会的な客観性、デザイナーとしての独自な視点や提案などをもとに空間や建築物を提案する能力を持つこと。・製図、パース等による表現技術(ペクターワークス、スケッチアップ、ツインモーション、ルミオン、イラストレーターなどPCソフト)の習得、あわせてプレゼンパネルにおけるレイアウトデザイン技術	【評価の観点・方法】平常点(授業姿勢など)、課題評価(コンセプト・完成度・表現力など)、出席率(但し、必要出席率が80%を満たさない場合、及び必要課題が提出できない場合は単位を認めない。)			
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	【井村01】9/21コンセプト再確認	これまでのエスキースによってまとめられたコンセプトを再確認しその問題点を洗い出す。テーマの問題点を早い段階で発見し軌道修正を行う。選定した敷地、提案しようとしている物の規模、それらが適したものであるかどうか。	授業の目的を理解する。事例研究、コンセプト確認	主体性、実行力、想像力	【授業運営方法】アクティブラーニング【持参物】各自エスキース内容が描かれたスケッチブック、敷地図、敷地写真等。筆記用具、ノートパソコン他必要だと思う資料		
2	【田淵01】9/21全体スケジュールについて	今後のスケジュールを作成し各自スケジュール管理を自分で行う事の再確認	"	"	"		
3	【内藤01】9/27コンセプト再確認	これまでのエスキースによってまとめられたコンセプトを再確認しその問題点を洗い出す。テーマの問題点を早い段階で発見し軌道修正を行う。選定した敷地、提案しようとしている物の規模、それらが適したものであるかどうか。	"	"	"		
4	【井村02】9/28具体的な設計内容への展開-1	設計主旨、建物概要の確認。大まかな設計ボリューム、配置計画、プラン等具体的な方向性を考える。提案しようとしている空間イメージのラフスケッチ、手描き図面を進める。	作品の方向性固め	"	"		
5	【田淵02】9/28中間プレゼンテーション内容発表	中間プレゼンテーションの内容の詳細を伝える。それに向けて進める。	"	"	"		
6	【内藤02】10/04具体的な設計内容への展開-1	設計主旨、建物概要の確認。大まかな設計ボリューム、配置計画、プラン等具体的な方向性を考える。提案しようとしている空間イメージのラフスケッチ、手描き図面を進める。	"	"	"		
7	【井村03】10/05具体的な設計内容への展開-2	選定した敷地に対する計画性、規模の確認。敷地周辺状況との動線、機能上の確認。スタディ模型を作成。	敷地と計画内容の検証	"	"		
8	【田淵03】10/05 "	"	"	"	"		
9	【内藤03】10/11 "	"	作品の方向性の確定	"	"		

22年度_後期_TSD_インテリアデザイン_3年_卒業制作_井村_内藤_田淵.xlsx

10	【井村04】10/12具体的な設計内容への展開-3	提案を具体的なレベルに上げて行く。コンセプトを元にデザインが進められているか確認。建物用途に則した平面計画はできているか、適切が空間の規模を抑えられているか。魅力的な空間創造に繋がるような断面計画などデザインのベース造りを進める。	具体的な案への落とし込み	課題発見力、計画力	〃		
11	【田淵04】10/12〃	〃	〃	〃	〃		
12	【内藤04】10/18〃	〃	〃	〃	〃		
13	【井村05】10/19基本デザイン決定	これまで進めてきた内容の再確認。それぞれ作図作業を進める。スタディ模型を使い空間のデザイン性を高める。中間審査に向けた作業。	スタディ模型を使い計画内容の確認。ボリュームチェック	〃	〃		
14	【田淵05】10/19〃	〃	〃	〃	〃		
15	【内藤05】10/25〃	〃	〃	〃	〃		
16	【井村06】10/26中間プレゼンテーション準備	午後の中間プレゼンテーションに向けて、発表練習を行う	計画性を持って準備を行う。	〃	〃		
17	【田淵06】10/26中間プレゼンテーション	平面図、スケッチ、スタディ模型、ベース等と1人3分ほどの口頭説明を行い提案発表を行う。講評、質疑を受けて計画内容の訂正すべき箇所を確認していく。	現計画案の発表および確認。最終プレゼンテーションの練習。	〃	【授業運営方法】中間発表【持参物】各自エスキース内容が描かれたスケッチブック、敷地図、敷地写真など。筆記用具、ノートパソコン他必要だと思う資料		
18	【内藤06】11/01より詳細なデザイン検討・中間発表を受けて訂正-1	中間発表で確認できた問題点等をふまえて提案内容の再設定を行う。	提案内容のレベルアップ	〃	【授業運営方法】エスキース【持参物】各自エスキース内容が描かれたスケッチブック、敷地図、敷地写真など。筆記用具。ノートパソコン。		
19	【井村07】11/02〃	〃	〃	〃	〃		
20	【田淵07】11/02〃	〃	〃	〃	〃		
21	【内藤07】11/08〃	〃	〃	〃	〃		
22	【井村08】11/09〃	〃	〃	〃	〃		
23	【田淵08】11/09最終プレゼンテーション内容発表	最終プレゼンテーションの内容の詳細を伝える。それに向けて進める。	〃	〃	〃		

22年度_後期_TSD_インテリアデザイン_3年_卒業制作_井村_内藤.xls

24	【内藤08】11/15より詳細なデザイン検討・中間発表を受けて訂正-2	中間発表で確認できた問題点等をふまえて、より提案・デザインの密度を高めていく。図面の縮尺をあげての製図作業、ベースの制作。	"	"	"		
25	【井村09】11/16 "	"	"	"	"		
26	【田淵09】11/16 "	"	"	"	"		
27	【内藤09】11/22 "	"	"	"	"		
28	【内藤10】11/29 "	"	"	"	"		
29	【井村10】11/30 "	"	"	"	"		
30	【田淵10】11/30 "	"	"	"	"		
31	【内藤11】12/06より詳細なデザイン検討・中間発表を受けて訂正-3	特に図面の縮尺をあげての製図作業、密度をあげること。ベースの制作。	具体的なパネル制作への作業移行。	"	【授業運営方法】プレゼン資料まとめ【持参物】筆記用具、ノートパソコン。		
32	【井村11】12/14 "	"	"	"	"		
33	【田淵11】12/14 "	"	"	"	"		
34	【内藤12】12/20最終プレゼン制作作業-1	図面、模型、ベースなどそれぞれの成果物をバランスよく進めしていく。	"	"	"		
35	【井村12】12/21 "	"	"	"	"		
36	【田淵12】12/21 "	"	"	"	"		
37	【内藤13】1/10最終プレゼン制作作業-2	"	"	"	"		
38	【井村13】1/11 "	"	"	"	"		

22年度_後期_TSD_インテリアデザイン_3年_卒業制作_井村_内藤_田淵.xlsx

39	【田淵13】1/11〃	〃	〃	〃	〃		
40	【井村14】1/18最終プレゼン制作作業-3	〃	最終発表の確認	〃	〃		
41	【田淵14】1/18〃	〃	〃	〃	〃		
42	【内藤14】1/24〃	〃	〃	〃	〃		
43	【井村15】1/25〃	〃	〃	〃	〃		
44	【田淵15】1/25〃	〃	〃	〃	〃		
45	【内藤15】1/31最終プレゼンテーション	成果物のプレゼンテーションを行う	集大成として、自分の考えや作品の意図を伝えれる。	発信力	【授業運営方法】発表【持参物】プレゼン資料、ノートパソコン、模型		

科目のねらい		教科書・教材	授業概要	到達目標	備考		
実施回	企業は4月以降、採用活動から実際に内定を出す期間に移り、学生が自己的就職先を決定する1年となる、本科目では、個々の学生の就職活動状況の把握する。個別の希望業界の求人票斡旋、キャリアセンター情報の伝達、自己分析、履歴書添削、面接対策を実施。	キャリアガイドブック、参考資料	《実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界での勤務経験のある教員が担当。建築・インテリア業界での勤務経験のある教員が担当。デザイン業界の企業や職種を把握し、実際の就職活動前に自分の進路を決定する。自己分析を進め、各種応募方法を学び対策する。	【専門知識スキル】:卒業後の希望進路について深く考え、就職活動する。内定を獲得することができる。 【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、実行力。(詳細は、各講の「当授業でのターゲット社会人基礎力」部分参照)。就職活動を通して、自己に不足している力を見つけ、対応できる力を養う。	【受講ルール等】:1、学生状況に応じて、資料配布は参考資料等をコピーして配布 2、課題提出は担任が改修、翌授業で必要があれば学生へ返却 【評価の観点】:1、必要出席率(80%)を満たしていること 2、授業参加態度が良好であること 3、課題の提出結果が基準点に達しており、認(認定)であること 【その他】:3~4人のグループも適宜取り入れ実施 【評価項目(評価の方法)】:平常点(授業受講姿勢など)、課題評価、出席率。ただし出席率80%に満たない場合、および必要課題が提出できない場合は単位不認定とする。		
	就職活動状況の自己棚卸 企業研究、採用のポイント／春休み活動把握	春休みの就職活動の棚卸 企業サイトの見るべきポイント、何を調べるか、どこを見るかを知る	就職に向けた自己棚卸を行う、春休み中の活動のまとめを行う、エントリー社数を報告する。企業SNSやHPから情報を読み解き、採用試験に活用する	傾聴力、主体性、計画力	【授業運営方法】:講義 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具		
2	活動状況把握、エントリーシート、履歴書作成／志望動機以外の項目の見直し／春休み活動把握	面談実施、冬季インターンシップ体験を踏まえた就職先の選択、エントリー	エントリーシートや履歴書など応募書類を完成させる。	傾聴力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
3	活動状況把握、エントリーシート、履歴書作成／志望動機以外の項目の見直し／春休み活動把握	面談実施、冬季インターンシップ体験を踏まえた就職先の選択、エントリー	エントリーシートや履歴書など応募書類を完成させる。	傾聴力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
4	活動状況把握／未内定者は5名程度にグレーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリアセントラル、エントリー企業検索(情報センターで実施)	書類選考に通る為の企業ごとの特性を踏まえたポートフォリオを作成する	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料、ポートフォリオ		
5	活動状況把握／未内定者は5名程度にグレーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリアセントラル、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
6	活動状況把握／未内定者は5名程度にグレーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリアセントラル、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験 【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		

23年度_前期_TSD_就職研究1_3年.xlsx

7	活動状況把握／未内定者は5名程度にグレーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリセシターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
8	活動状況把握／未内定者は5名程度にグレーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリセシターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
9	活動状況把握／未内定者は5名程度にグレーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリセシターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
10	活動状況把握／未内定者は5名程度にグレーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談	個別面談実施、未活動者はキャリセシターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
11	活動状況把握／未内定者は5名程度にグレーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリセシターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
12	活動状況把握／未内定者は5名程度にグレーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリセシターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
13	活動状況把握／未内定者は5名程度にグレーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリセシターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
14	活動状況把握／未内定者は5名程度にグレーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリセシターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		
15	活動状況把握／未内定者は5名程度にグレーピングしてキャリアセンターで就職活動を行う／未内定者担任面談 内定者は課題を制作	個別面談実施、未活動者はキャリセシターツアー、エントリー企業検索(情報センターで実施)	学習目標の進捗確認と活動状況把握	傾聴力、主体性、計画力、実行力	【授業運営方法】:試験【持参物】:キャリアガイドブック、筆記用具、PC、参考資料		

科目的ねらい	教科書・教材	授業概要	到達目標	備考			
企業は4月以降、採用活動から実際に内定を出す期間に移り、学生が自己的就職先を決定する1年となる。本科目では、個々の学生の就職活動状況の把握する。個別の希望業界の求人票斡旋、キャリアセンター情報の伝達、自己分析、履歴書添削、面接対策を実施。	キャリアガイドブック 参考資料	《実務経験のある教員による授業科目》デザイン業界実務経験がある教員が担当する。デザイン業界の企業や職種を把握し、実際の就職活動前に自分の進路を決定する。自己分析を進め、各種応募方法を学び対策する。	【専門知識スキル】:卒業後の希望進路について深く考え、就職活動する。内定を獲得することができる。【社会人基礎力】:主体性、働きかけ力、実行力。(詳細は、各講の「当授業でのターゲット社会人基礎力部分参照)。就職活動を通して、自己に不足している力を見つけ、対応できる力を養う。	【受講ルール等】:1、学生状況に応じて、資料配布は参考資料等をコピーして配布 2、課題提出は担任が改修、翌授業で必要があれば学生へ返却【評価の観点】:1、必要出席率(80%)を満たしていること 2、授業参加態度が良好であること 3、課題の提出結果が基準点に達しており、認(認定)であること【その他】:3~4人のグループワークも適宜取り入れ実施 【評価項目(評価の方法)】:平常点(授業受講姿勢など)、課題評価、出席率。ただし出席率80%に満たない場合、および必要課題が提出できない場合は単位不認定とする。			
実施回	テーマ	内容(詳細)	習得目標	ターゲット社会人基礎力	授業運営方法・持参物 等	授業外学習・宿題・提出課題 等	重要用語・キーワード(任意)
1	就職内定者…内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者…企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談 ※個人面談は随時	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
2	就職内定者…内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者…企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
3	就職内定者…内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者…企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
4	[PROGテスト実施]就職内定者…内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者…企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談 ※個人面談は随時	[PROGテスト実施]一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	[PROGテスト実施]内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
5	就職内定者…内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者…企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談 CG2名キャリアセンターで活動	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
6	就職内定者…内定した会社に入社してから必要な力を身につける 未内定者…企業研究、履歴書、個別活動状況把握面談	一般常識、ビジネスマナー、一般教養小テスト、企業エントリー、ポートフォリオ作品チェック 履歴書やエントリーシートの作成、社会人としての心構え指導 ※個人面談は随時	内定者は個人スキル到達目標を設定し、学習する。 入社してからの社会人基礎力の充実 未内定者は企業にエントリーし、応募書類の作成後、講師、キャリアセンターから添削を受ける。面接練習の為にクラスメイトやキャリアセンター担当と模擬面接を実施する	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		

22年度_後期_TSD_3年就職研究Ⅱ.xlsx

22年度_後期_TSD_3年_就職研究Ⅱ.xlsx

15	授業を振り返って	就職活動を振り返って自分が得たことと今後の展望をディスカッション。	自分自身が苦労したことを今後の社会人活動に活かす。	主体性、実行力、規律性、計画力、ストレスコントロール力	【授業運営方法】講義、ディスカッションと実習【持参物】:筆記用具、PC		
----	----------	-----------------------------------	---------------------------	-----------------------------	-------------------------------------	--	--